

# 乗

空気圧が零(ゼロ)でも、まだ走れる、という安心を。

【パンクしてもなお、一定の距離を走り続ける。ランフラットタイヤ】

たくさんのクルマがハイスピードで行き交うハイウェイ。高速走行中のパンクは命に関わる問題だ。パンクしても走り続けられるランフラットタイヤがさらに進化し、普及することで、ドライバーの不安だけでなく、スペアタイヤも減らせる。つまり省資源や低燃費など、地球環境にも貢献できる。

住友ゴムのランフラットタイヤは、世界の自動車メーカーから高く評価され、多くのクルマに標準装着されてきた。さらに住友ゴムは次世代新工法「NEO-T01」を採用し、高い安全性能と、上質な乗り心地、快適な操縦安定性能、低燃費性能を兼ね備えたプレミアムランフラットタイヤを開発、

2014年に日本ではダンロップ、欧州ではファルケンブランドでそれぞれ市販化した。1970年、世界で初めてダンロップが実用化したランフラットタイヤ。

住友ゴムには、それを世界中に広げる責任がある。 ※空気圧が0(ゼロ)の状態で、ISO規格に基づいた試験条件において時速80kmで60km走行可能。

# 挑むゴム。住友ゴム



住友ゴム工業株式会社  
SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.